

図書館

行く・読む・調べる・借りる そこはみなさんの本棚

本

と上手につき合う方法の一つに「図書館」があります。図書館は本を借りるだけの所ではありません。別名「知の宝庫」と言われるだけあって、さまざまな資料をそろえています。「おいしい野菜の作り方」のように身近な疑問から「地球温暖化を防止す



「知の宝庫」図書館。
棚には知識がピッシリ詰まっています

るために人類は何ができるか」などの大きなテーマまで、気になることを調べるための、言わば市民の本棚なのです。市内の図書館では回答できない専門的なことは、県立図書館、または国立国会図書館にも問い合わせることが出来ます。気になることがあるけれど調べ方が分からない…といった方は、一度利用してみたいかがですか。図書館は調べ物のお手伝いをしてくれます。

何

を読もうかと迷っているお子さんはいませんか。

そんな時は市図書館から配布している読書案内「もうよんだ？」を参考にしてください。0歳から中学生まで、それぞれの年齢に合った本を職員が選び、コメントをつけて紹介しています。年4回発行で各学校などで配布しています。図書館にも置いてありますので活用ください。



市図書館から宅老所「ふらっと」へ出張して読み聞かせ。
利用者のみなさんの楽しみの一つです

新しい本は毎週土曜日に入ります。新着本の一覧表はホームページの「新着本」から確認できます。

図書館ではイベントも行っています。お話会や工作会、ときにはプロの人形劇団などの公演も開催します。また、市図書館から外に出で、保育所、幼稚園やこども園、宅老所への「出張読み聞かせ」な



あさご森の図書館の壁面。
木の年輪を薄く切り、張り合わせています



市内の子どもたちに配布されている読書案内「もうよんだ?」。
図書館が作ってることを知っていましたか?

どの活動もしています。また、テーマを決めてそれに関連した図書を紹介をする「ブックトーク」も小・中学校で行っています。



子どもたちに大人気の工作会